

経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)後の合併症が死亡に与える影響

1. 研究の対象

対象： 2014/1/1から2024/12/31の間にTAVIが施行された病者。

除外基準：手術室入室後にTAVI弁が留置出来なかった病者。

2. 研究目的・方法

TAVI 後、脳梗塞、感染、転倒による骨折、心不全などの非心臓疾患による再入院は〇%と報告されていますが、再入院したことが死亡へ影響している報告はありません。TAVI 後の心不全再入院予防は意識されやすいですが、フレイル(虚弱な)高齢者は、心疾患だけでなく、その他の合併症にも注意が必要で**ある**。そこで今回、TAVI 後の合併症が死亡にどう影響を与えるかを検討することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より血液検査・心臓エコー・身体機能・認知機能検査の結果などから情報を収集します。

4. 研究組織

心臓病センター榊原病院(外部への情報提供はありません)

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病者さまもしくは病者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先まで 2025 年 12 月 31 日までにお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病者さまに不利益が生じることはありません。

[照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1/電話：086-225-7111

担当者：内藤 喜隆(リハビリテーション室)

研究責任者：平岡 有努(心臓血管外科)